# 「第12回 広島大学マスターズ講演会（オンライン）」報告

谷本能文

講演題目：「西条のお酒と大学」

講師：相田美砂子　広島大学特任教授/学長特任補佐

日時：11月28日（土）　午後1時30分～3時

相田美砂子先生は，1979 年お茶の水女子大学 大学院理学研究科化学専攻修士課程を修了後，国立がんセンター研究所の研究員になられ，1986 年東京工業大学で理学博士の学位を取られました。1998 年に広島大学理学部教授に就任され，以後 22 年間広島大学において，学生の教育・研究と大学の運営に当たられ，本年 3 月定年を迎えられました。4 月からは特任教授/学長特任 補佐(研究人材育成担当)として引き続き大学の運営に務められています。

先生のご専門は，理論化学，特にコンピューターシミュレーションを駆使し て，たんぱく質内反応の道筋，溶液中の構造やIR，反応の道筋と制御など，生体系や凝集系の特性や反応性を明らかにするという研究でご活躍されています。

先生はお酒が大好きで，広島大学の教授に応募されたのは西条のお酒に誘われてなのかと，私は密かに考えていますが・・・・。先生の研究グループの 1 年は，4月鏡山でお花見，8 月院試後に研究室で打上げ，10 月「酒まつり」に研究室で酒ひろば・美酒鍋，12 月大掃除後に研究室で打上げ，2 月卒論発表会・修論審査会後に研究室で打上げ，3 月卒業式後に研究室で打上げと，何かとお忙しいようです。酒まつりは 10 年以上の常連ですが，「西条のお酒はどれもとても美味しいけど，酒類総合研究所のお酒は特に美味しい」とのことでした。「最近は同研究所のお酒の味を知る人が増え，何回もお酒が飲めなくなったのがさびしい。またぐい呑みがちいさくなったのは具合が悪いのでは・・・」とおしゃっていました。酒 まつりの主催者さんには考えてほしいものです。

先生は，2003 年に「ナノテク・バイオ・IT 融合教育プログラム」(5 年間) で科学技術振興調整費新興分野人材育成の研究費を獲得され，広島大学で初めてのビッグプロジェクトを主催されました。このプログラムを実施するうえでは大変なご苦労があったようですが，プロジェクトは大成功で，併せて大きな組織を作り上げ，それを運営するすべを学ばれたようです。この先生の才能に目を付けられた当時の学長が，先生を大学執行部に引き抜かれたのでは・・・。以後，広島大学を世界のトップ 100 に仲間入りさせることを目標に数々の大学改革を推し進められています。例えば，教員の研究者としての評価・教育者としての評価ができるような世界基準の教員評価シス

テムの構築をされています。そして，研究分野間の融合/連携による研究のさらなる発展・グローバル社会における諸課題を解決できる次世代の育成を目的に，それまで 11 あった大学院研究科を今年から4研究科に統合再編されました。また広島大学男女共同参画の推進にも大きくかかわっておられます。このような一連のご活躍により，先生は 2017 年に国際純正・応用化学連合の女性化学者国際賞を受賞されています。また，2011 年からは，日本学術会議連携会員，2017 年からは同会員と活躍されています。今後一層のご活躍を期待しています。

新型コロナ禍での初めての online 講演会ということで少なからず心配しましたが，参加者は約 32 名，皆様のご協力を得て無事講演会を終えることができま したことを感謝します。